



みんなで地域を変えていこう!商工会講演会

阿蘇町商工会が「いい話を聞く」勉強会を今年から始め、第1回目は、レポーターとして活躍中の藤本一精氏による講演会を10月8日、農村環境改善センターで開催しました。テレビ番組の取材で様々な店舗約1,600軒を訪ねたという藤本氏が、客の目線で、どんな店が伸びていくか、売れる店のヒントを「自分が変われば、世の中が変わる」と題し熱弁。大型店の進出による厳しい環境の中、身近な商店街は、客の心を動かすような独自のサービスや商品開発を目玉に!と話されました。



救援活動隊が内牧中央公園を美化奉仕

天理教災害救援ひのきしん隊・熊本(時和克己隊長)、長崎、福岡ブロックの75人が10月1日から3日間、内牧中央公園の清掃作業を行いました。

これは、災害救援奉仕活動に取り組む隊員の皆さんが、訓練として行われたもので、さら到来年5月、全九州ブロックの災害救援活動訓練も本市で行われる予定です。

今回の作業では、公園の草刈り・清掃ほか、ダイバーの皆さん(10人)が協力して池の藻や不法投棄されたゴミを除去。これを地元事業所の重機、トラック等の貸し出し協力で運び出すなど大掛かりな作業で公園の美化に貢献いただきました。



青年たちが夜渡相撲奉納 霜宮神社祭

役犬原の霜宮神社で、10月18日、農耕祭事「火焚き神事・乙女揚げ」の夜渡があり、阿蘇神社の神官が朝5時過ぎまで夜通し神楽を舞い、太鼓の音とともに幻想的な神事を行いました。さらに、氏子の皆さんの発案で3年前から1,000個の「竹灯」を灯し、古式ゆかしき祭りにより一層情緒を醸しました。

また、神社境内では恒例の夜渡相撲があり、まわしを着けた若者たちが懸命に相撲をとり祭りを盛り上げました。



保育園児らが街頭募金活動

熊本県共同募金会阿蘇市支会が10月1日、スーパーマーケットみやはら内牧店前で内牧保育園児や阿蘇町母子寡婦福祉会の会員と共に募金活動を行いました。

10月1日から3ヶ月間にわたって実施される「赤い羽根共同募金」の活動の一環として行われたもので、強い日差しが照り付ける中、園児らは大きな声を出しながら募金活動に励みました。